

## 1. 学校関係者の評価

全職員は学年ごとに保育案を計画し実践しているうえ、反省、改善を加えて見直しを繰り返している。常により良い環境を整え、多くの経験の場を与えられるように努力しているところが賛同できる。

また、近年の気候変化や環境状況に応じて健康管理を考え、子どもへの視診などにも十分に気をつけて取り組んでいる。なお専門分野における知識不足や経験不足が感じられる場合、個別に学習すると同時に他の職員とも朝礼や終礼の場で意見交換して補足をしている。

以上のように各領域において向上心を持ち、熱心に研修に取り組む姿勢が認められるので、特に指摘する事項はない。